

# ヨード造影剤との併用注意の薬剤について

ビグアナイド系糖尿病用剤とヨード造影剤は、併用により乳酸アシドーシスをきたすことがあるため併用注意とされています。

原因は、ヨード造影剤の投与により一過性の腎機能低下をきたす可能性があり、その結果、ビグアナイド系糖尿病用剤の腎排泄が減少し血中濃度が上昇するためと考えられています。

そのため、ビグアナイド系糖尿病用剤の服用を中止し、検査後4～8時間してから再開することが望ましいとされています。

糖尿病の治療薬を服用されている方は医師、または看護師にお尋ねください。

## ビグアナイド系糖尿病用剤の服用中止について

腎機能・血清クレアチニン値	eGFR	造影 CT 検査前	造影 CT 検査後
血清クレアチニン値が正常	90≤	検査時より服用中止	※検査後 48 時間、服用中止
血清クレアチニン値が異常	89～30	48 時間前から服用中止	※検査後 48 時間、服用中止
	29>	原則造影剤の投与は禁忌	

※但し、腎機能(血清クレアチニン値)が正常範囲内または悪化していない場合に、再開可。

## ビグアナイド系糖尿病用剤 一例

一般名	商品名	
ブホルミン	ジベトスB錠	ジベトンS錠 (腸溶錠)
メトホルミン	グリコラン錠	メデット錠
	ネルビス錠	メトリオン錠
	メタクト配合錠 LD	メタクト配合錠 HD
	メトホルミン塩酸塩錠	メトグルコ錠

※該当する薬剤は上記以外にもあります。

薬剤一覧：[http://www.radiology.jp/content/files/20210302\\_poster01.pdf](http://www.radiology.jp/content/files/20210302_poster01.pdf)